助成・寄付寄贈報告

◆ 「駿河屋サッカー教室」協賛金として、会員様より寄付

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

今年度から「子どものそだち研修会」「東部アセスメント研究会」の２つの研修会が「Be サポ事例研究会」として統合されました。参加登録手続きの窓口がひとつになります。研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行います。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第３水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津

参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／１回

参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

今後の予定：5/15（成人事例）、6/19（子ども事例）、7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/18、1/15、2/19、3/18

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
（児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」
保育所等訪問支援）

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業
（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
函南町・清水町・伊豆市教育委員会
（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

不登校ひきこもり支援事業
静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業
沼津「なごみ」　伊豆市「とっこ」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 49 名、賛助会員４名（2019.4 時点）で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用免除が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

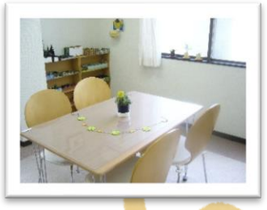
2019 年５月 10 日発行　Vol.20

NPO 法人 臨床心理オフィス
Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

ゆったりと落ち着いた相談環境を整えてお待ちしています

Be サポートの事務所と相談室は、沼津市高島町の賃貸ビルの一室をお借りしています。８年前の法人設立当初は経済的余裕などもちろんなく、お借りしたままのお部屋に、机、テーブル・椅子、棚などはスタッフの持ち寄りや寄附して頂いたものを最低限配置して、という形でスタートしました。

８年の間に事業が大きくなるとともに荷物や資料がどんどん増え、事務スペースやデータの保管スペースの手狭さを感じていたところ、昨年夏に同じフロアのお部屋を借り増しすることができ、事務スペースが広くなりました。それまでそのお部屋を使用してされていた大家さんから机椅子などの物品を寄付していただき、さらにたくさんの素敵な絵画をお借りすることもでき、心理の仕事をするにふさわしい環境に一歩近づきました。ですが、相談室そのものは開設当時のままで、真っ白な壁にシンプルなテーブルと椅子だけという、やや味気ない印象がありました。



そこでこの春、知り合いの職人の方のご協力を得て、ようやく相談環境の改装を手掛け始めました。まずは、８年の間にくたびれたフロアマットを敷き直し、壁は落ち着いた印象のツートンカラーに張り替え、大家さんからの絵画もしっくりと収まりました。そして念願のソファーセットを購入し、相談コーナーと心理検査コーナーとに分けることにしました。これから、少しずつ小物なども揃え、落ち着いた気持ちで安心して相談できる、愛される相談室に育てていきたいと思っております。

より
落ち着いた雰囲気
になりました！

検査コーナー

相談コーナー

「駿河屋サッカー教室」にて Be サポートのロゴが！

今年１月６日、「第２回　世界にはばたけ！駿河屋サッカー教室」が静岡市にて開かれました。サッカーを通じて、子どもたちの健全育成に貢献しようというのが、この教室の目的です。元日本代表の川口能活さんや高原直泰選手など、そうそうたるメンバーが講師として参加していました。

そしてなんと講師が着用していたユニフォームに Be サポートのロゴがプリントされています（写真参照）。実は会員様のご寄付により、このようなことが実現したのです。

今回こういった形で、私共の法人が子どもたちの笑顔を作るのに関われたことは、非常に喜ばしく、また光栄に思います。お世話になりました会員様に、厚く御礼を申し上げます。

静岡新聞に掲載された記事
H31.1.7

プロの技 川口さんら伝授
静岡 小学生にサッカー教室

活 動 報 告

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

今回は３月３日に行われた三島・御殿場での情報交換会の様子についてご報告したいと思います。当日はあいにくの雨となってしまいましたが、総勢31名の方が集まってくださいました。

静岡、富士、沼津でそれぞれバスに乗り込み、まずは三島スカイウォークに向かいましたが、霧がひどく、肝心のつり橋もよく見えません。しかし、そんな濃霧の中でもつり橋を渡られたご家族もいらっしゃいました。すごい！他の皆さんはスカイガーデンでお花やいちご大福などを楽しみました。

続いては御殿場時之栖へ向かいます。アクアリウムでは、いろんな金魚を鑑賞。バイキングでは、海鮮丼やサーロインステーキ、ケーキ等々・・・1時間でお腹一杯食べました。

昼食後は自由行動。子どもたちはボルダリングに初挑戦！最初は苦戦しましたが、インストラクターさんのアドバイスと子どもたちの粘り強さの甲斐あり、中くらいのレベルのコースまでなら登ることができるようになりました。他の方たちは温泉でゆったりとくつろぎました。

最後は合流し、噴水ショーを観賞。最前列で見ていた中学生たちはびしょ濡れになってしまいました。

休憩時間やバスの中でスタッフが相談を受ける場面もありました。当時の津波の様子を昨日のことのように話される方、時間が経って新しいことを始めようと考えている方、静岡での生活の困りごとや、他の場所では話しづらくなってきていることを語られる方もいらっしゃいました。今回初参加のご家族もいらっしゃいましたが、今回の交流会が皆さんにとって楽しく、そして悩みを話すことのできる場となっていましたら幸いです。

これからも定期的に交流会を開催できればと思っておりますので、その際はまたよろしくお願いします。

障害児･者総合サポートセンター「みつばち」

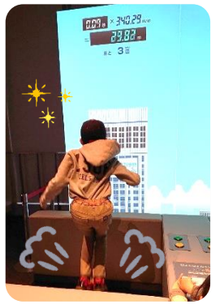
～ あんず ～

３月末、あんずの大きい子組さんの『進級パーティー』をしました。

年長さんは卒所、他にも現状に応じてその子の学びに１番良い場所に移動して進級していく子もいます。「新しい環境でも楽しみながらがんばってね！」今年度も来所する子には、「これからもよろしくね♬」の気持ちを込めて過ごしました。ご家族にも参加して頂きながらのゲーム大会。日頃はルールを少し易しくわかりやすくして行っていますが、通常ルールにする事で、いつもより緊張する場面もありました。勝ったり負けたりしながら笑顔がいっぱい☆子ども以上にスタッフが１番盛り上がっていたかも？！

お弁当もみんなで食べながら送迎の時以上に会話が弾み、楽しい食事となりました。今年度もご家族にも参加して頂ける企画を行い、横の繋がりも出来たら嬉しく思います。

～ かりん ～



春休み、「かりん」を卒業する６年生との思い出作りのため、皆で「静岡科学館る・く・る」へ行ってきました。1時間ほど電車に乗っての移動でした。行きの車内は乗客が多い中、６年生達は最後までマナーを守って乗る事ができ、下級生に良きお手本を見せてくれました。さすがの６年生でした！！

る・く・るでは、グループで行動し各体験ゾーンで、順番を守って待つ事ができるかな？と心配していましたが、日頃の練習の成果を皆が発揮してくれ、安心して館内を回ることができました。１人で挑むまっくらな迷路体験では怖くて途中で断念した子も何人かいましたが、またリベンジしたい！という頼もしい声もありました。また、自力で走って発電したり、レーザーをよけて進むことに挑戦するなど、様々な科学のふしぎ体験を楽しんでくることができました。６年生にとっても、かりんでの楽しかった思い出の１つとして記憶に残ってくれると嬉しいです。

活 動 報 告

県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみ」

居場所とは、長い間（6か月以上）自宅にとどまっていて、学校に行ったり仕事につくなどの社会に出られない状態の方々のための、日中自宅以外で過ごす場所を言います。ひきこもりには、社会に出るのに経験や自信がなかったり、対人交流が大変苦手だったり、精神症状があるために、外に出られないなど様々な理由があります。Ｂｅサポートが運営する「なごみ」のスタッフは精神医療のデイケア経験のある看護師や臨床心理士ですので、いろいろなご相談にも応じられます。

場所はマンションの一室で、家庭的な雰囲気を感じながら活動しています。活動内容は様々で、ご自身でやりたいことを持ち込んでも大丈夫ですし、スタッフが用意した活動に参加もできます。季節の行事やイベントなどもプログラムに入れながら季節感を感じられるようにしています。

また、近くのショッピングセンターで食材などを買い物に行ったり、クッキングも行います。新しい事にチャレンジしてみたいけど、１人でやるのには自信がないような方も、スタッフがお手伝いしますので、安心して参加してください。

「なごみ」はスタートして２年半になりますが、昨年度は、いったん終了となった利用者さんがもう少し進路について考えたいと戻ってきました。また、４月からはさらに登録者数が増えました。就職したいけれどまだ自信がなく、人とコミュニケーションが取れるようになりたいと目標をもっている方がほとんどです。利用の申し込みが増え、利用者さん同士で情報交換したり談笑している様子が見られ、大変うれしく思っています。

一度社会参加や復帰ができてもまた戻ってきても、ひと息つけて、ほっとできるような居場所でありたいと思っています。

伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」

「伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート『とっこ』」は、伊豆市社会福祉課の多大なご理解とご協力の下、Ｂｅサポートの自主事業として昨年度からスタートしました。

場所は伊豆市生きいきプラザ２階談話室で、利用者さんの希望を優先して、トーク、ペーパークラフト・手芸などのワーク、ボードゲーム・トランプなど、コミュニケーションを取りながらの活動にのんびりと取り組んできました。利用者さんが持参した知恵の輪に参加者・スタッフが取り組み、さりげなくヒントを交わしながら達成し歓声があがることもありました。時には談話室を出て狩野川の辺りを散策したり、バドミントンやテニスで軽く身体を動かすことも続けてきました。アイデアを持ち寄り鯛焼きやパスタ料理などクッキングも行いました。利用者さんの手際の良さに驚かされながら、テーブルを囲んで食べる時間は至福の時です。

そして野外活動として、１月に修善寺温泉・修禅寺へ、３月末には修善寺虹の郷への散策に出かけることが出来ました。利用者さんの体調を気遣いながら、参加したみんなで足湯を楽しんだり季節折々の景色、花を愛でることが出来たのは、嬉しいことです。

今年度からは、「なごみ」に続き「とっこ」も、静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業の委託を受けることになりました。今後も利用者さんの要望を継続優先して県関係市町福祉課、学校、保健センター、医療など関係機関と適切な連携を取りながら、さらに利用者さんやご家族にとって有効な居場所提供が出来るよう対応していきたいと考えています。